

No. 35 号 ひらつかの風

2023年11月号
(令和5年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1平塚市情報 御寄附をいただきました
P.2~3...センターレポート 『防災座談会』開催報告
P.4センター情報、平塚市情報



ひらつか市民活動センターは
おかげさまで
開設20周年を
迎えました。

センター
レポート

『防災座談会』を開催しました



平塚市情報

御寄附をいただきました！

この度、(株)マルハン平塚店様と(株)マルハン茅ヶ崎店様から「平塚市協働のまちづくり基金」へ25万8742円の御寄附をいただきました。

この基金は平塚市市民活動推進補助金などの市民活動団体や地域団体等による公益的活動への補助等に活用されています。



10月17日(火)に開催された贈呈式後の写真

左側から
(株)マルハン平塚店 スタッフ 寺村様・
店長 山中様・落合市長・
(株)マルハン茅ヶ崎店 店長 平塚様・
スタッフ 斎藤様

● ひらつか市民活動センターのホームページをご活用
ください!!



センターから発信する様々な報告・情報を
右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

センター
レポート

「防災座談会」を開催しました

首都圏直下型の地震は今後30年間で70%の確率で起こり得ると予想されています。昨年に引き続き9月30日に認定NPO法人かながわ311ネットワークの伊藤代表理事をお招きし、「マンションの防災～主に分譲マンションについて～」と題して講演いただきました。



▲伊藤さん

● 分譲マンションの仕組み

分譲マンションの購入者である「区分所有者」全員で構成する「管理組合」は、建物・敷地及び付属施設の管理を行います。「管理会社」は「管理組合」から委託を受け補助的役割を担っています(事務管理業務・管理業務等々)。尚、管理組合の意志決定機関は「総会」となります。



● 大地震でのマンションの被害

一般的に直下型地震(阪神淡路大震災・熊本地震)の方が被害としては大きい傾向にあるようです。※(株)カンティ調べ

● 大地震が発生

発災後に停電すると、

①エレベーター停止

②照明が消える

③オートロック停止

等の事態が予想されますが、さらに停電が断水に直結します。



● 発災時の対応

①安全確保(自分の身を守る)

②避難路の確保、消火、近隣の安否確認

避難する場合、二次被害を防ぐ意味でもブレーカーを落としたり、ガスの元栓を閉めることもお忘れなく。その他、マンションのルールに従い、安否情報を報告共有しましょう。



● マンションで在宅避難生活を送る

①耐震対策(安心して眠れる部屋と物資の備蓄)

②トイレの用意と管理(下水道の安全が確認されるまで、トイレは流せません)

③情報・照明・家族の必需品など(食べ慣れたものを少し多めに保存しておきます)

④ゴミの管理(自治体の収集が機能するまで相当日数かかります)

● 自主防災計画の必要性

市町村の行政機能が麻痺するような災害が発生した場合は、まずは自分自身の命と身の安全を守ることが重要であり、その上で地域コミュニティ相互の助け合いが求められます。

そのために居住者と管理組合が行う自発的な防災活動に関する自主防災計画を策定すると良いでしょう。

質問(抜粋)

Q. 防災計画も作成したが自治会役員が輪番制であり、引継ぎが上手くいかない。解決方法を聞きたい。

A. ①まずは安否確認の箇所を確立してはどうか。
②防災委員には重複して残ってもらうのも良い。



当日は平塚を拠点に活躍されている女性防災クラブ平塚パワーズ、社会福祉協議会、ひらつか災害ボランティアネットワーク、平塚青年会議所、平塚中郡薬剤師会の皆様にご参加いただき日頃の活動状況をお話していただきました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

ひらつか市民活動センターでは関係機関の皆様と共に防災連携について情報交換を定期的に行っています。

参考文献:

- 認定NPO法人 かながわ311ネットワーク
- ・「マンションで大地震を生き延びる」
- ・「その時、3日間を生き延びる」

防災座談会に参加された各団体さんに 日頃の活動や思いを伺いました。



平塚市内で防災活動に取り組む団体は市内に多数あり、市民の皆さんにとって心強い存在となっています。防災は平時からの取り組みが重要と言われています。センターとしても各団体の皆さんとの連携を深め、いざという時に協力できる体制づくりを進めていきたいと思ひます。

●平塚市社会福祉協議会●

ボランティアセンターの遠藤さんに伺いました

ボランティアセンター設営訓練などの養成講座を定期的に行っています。

その際に、参加者の中で災害ボランティアに関心のある方に声を掛けて協力者を集めています。災害が起きてから集まる方々だけでなく、普段から協力者のすそ野を広げる努力をすることが大切と考えているからです。同じ観点から市内イベントに積極的に参加出店して、啓もう活動に力を入れています。

2019年3月、平塚市、平塚青年会議所との3者で

「災害時における相互協力に関する協定」を締結しました。

災害発生時に災害救援ボランティア活動の支援ができる協力体制を整えています。日頃からひらつか市民活動センターなど他機関とも連携をとっています。

◀遠藤さん

●公益社団法人 平塚中郡薬剤師会防災部会●

薬剤師の桐生さんに伺いました

ひらつな祭・大磯チャレンジフェスタ・総合防災訓練など防災イベントなど平塚市だけでなく大磯・二宮地区の防災イベントに積極的に参加し広報しています。また各所で薬の防災パンフレットを配布し、各家庭で災害への備えをするよう案内しています。災害時には避難先で常用している薬が手に入らなくなることが考えられるので、医師会とともに有事に備えています。

会員の多くは保険薬局を営んでいるので、近隣店や商店街との協力関係を築くため普段から顔の見える関係づくりを大切にしています。

◀桐生さん

●ライオンズプラザ平塚見附町● 自治会長の大村さんに伺いました

当マンションには226戸が居住しています。令和5年2月に自主防災会が建物内防災設備見学を実施し70人以上が参加しました。他にも災害時の安否情報の確認・集計、対応について役員内で話し合っています。

しかし、駅に近く、200を超える世帯の町内会加入率は6割で、居住者の出入りが多いことも気がかりの一つです。「顔のわかる関係づくり」が大切と、毎年七夕まつりと餅つきを企画して交流を図っていますが、子どもから大人まで大好評です。

◀大村さん

●ひらつか災害ボランティアネットワーク● 代表の斎藤さんに伺いました

年間を通して市内各地域で行われる防災訓練の講師をしたり、地域のおまつりなどに出席して、子ども向けに持ち出し袋の中身を知るゲームを行ったりして、防災の心がけと備えについて伝えています。また、日頃から防災団体同士が被災地で得た様々な情報を交換しながら災害が発生した時の対処法を考えています。

団体の悩みとしては、災害が起きると会員が増えるのですが、平時にモチベーションを維持することが難しいという理由で辞めてしまう方もいるため、持続可能な組織体制にしていくことが課題です。

◀斎藤さん



センター情報

● 団体活動にお役立てください！

若者のボランティア活動報告会

今夏、ボランティア活動を体験し、ボランティア情報誌「ひらつかの空」の編集に関わった経験談を6名の学生が「ひらつか市民活動センターまつり」のパフォーマンス会場にて発表します。たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。

日時 ● 11月26日(日) 10:35～11:10

会場 ● 崇善公民館1Fホール 定員 ● 40名 参加費 ● 無料



ボランティア情報誌「ひらつかの空」第4版を発行しました！

「ひらつかの空」はボランティアをやってみたいという方とボランティアを募集したい団体さんをつなぐ情報誌です。センターに配架していますので、ぜひ手に取ってください。

センターWebサイトからもダウンロードできます。

平塚市情報

令和
6年度

市民活動推進補助金の募集開始・
応募説明・相談会の開催

令和6年度補助希望団体の募集を開始します。

詳しくは下記の市ウェブを御覧ください。また、応募の手引きは平塚市役所(協働推進課)、ひらつか市民活動センターでも配布しています。

募集期間 ● 令和5年(2023年)11月15日(水)～令和6年(2024年)1月23日(火)

応募説明・相談会 ● 令和5年(2023年)12月16日(土) 14:00～ 会場 ● ひらつか市民活動センター

補助金応募方法等は市ウェブを御参照ください

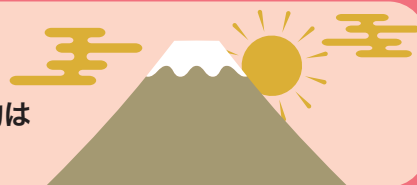
(http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00016.html)

問い合わせ先: 平塚市協働推進課 電話 21-9618



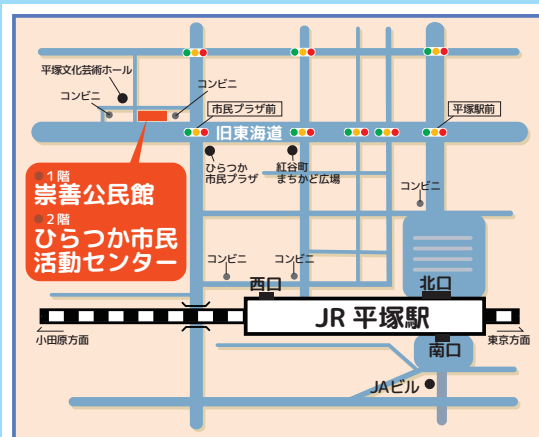
● 年末年始センターのご利用についてのお知らせ

- 閉館日……12月28日(木)～1月4日(木)
- 年始は1月5日(金)より開館いたします。
- 会議室の予約について……令和6年3月28日(木)～4月4日(木)の予約は令和5年12月27日(水)から受け付けます。



編集後記

今年は関東大震災から100年という節目の年。県内各地で防災に関するセミナーを開催したり、メディアでも当時の様子を写真入りで紹介したりして、防災への関心を高めています。センターでは昨年に引き続き「防災座談会」でマンション防災をテーマに開催しましたが、少しでも関心を持つ方々がが増えて防災の輪が広がるといいなと思います。喉元過ぎれば熱さを忘れるという諺にもあるように、防災は平時の取り組みが重要です。この機会に今一度、我が家の防災を考えてみませんか？(さ)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町1-8

TEL ● 0463-31-7571

FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数(2023年10月15日現在)

登録団体数 ● 450 団体

(内訳 市民活動団体…316 団体、一般団体…134 団体)



センターのマスコット
たすけくんとあいちゃん